

希 臘	シヤコフト	二十九吋二	百分ノ十四半	八十七嗎	半分丈ケ開業列車速力一時間三哩ヨリ六哩迄 旅客六十五人ヲ載スルモノ(遊覽用) 六十噸ノ重子曳キ得ルモノ 速力一時間三哩乃至五哩高サ海面上二万四千 尺ニ至ル 本年夏落成セタル筈
瑞 西	モンテガ子ロソ	五哩六	三十一吋	百分ノ二十二	六十五嗎	
南 米	ウエ子ズイラバレンチエ	九哩	一「メートル」	百分ノ八	百二十五嗎	
北 米	コロラドモントウ	九哩	四呎八吋	百分ノ二十五迄	百二十二嗎	
北 米	モンテサルベ電氣鐵道	五哩六	一「メートル」	百分ノ二十五迄	六十五嗎	

○パナマ運河失敗始末

南北亞米利加間ノ地峽ヲ開鑿シテ大西大平兩洋間ノ航通路ヲ開カントスルノ企ハ由來甚タ古ク數百年ノ昔コーテツズ氏モ此考按ヲ以テ地峽ヲ拔跡セシヲアリ近代ニ至ツテハ佛良西ノルイナボレオン未タ牢中ニアリシキモニカラガ地方ニ運河ヲ作ツテ之ヲナボレオン運河ト名ツケント企タルカ如キ又カブラインイ、ツガテホンテベク地峽ニ舟鐵道ヲ目論見タルカ如キ皆此一大事業ヲ實施セシムルノ陸梯ナリシガ時機漸ク熟シテ今ヲ去ルコト十二年前即西歷千八百七十九年ニ至レリ時ニ世界ニ於テ海岸ヲ有スル各國ノ委員九十余名ヨリ成リ立チタル會議ヲ巴黎ニ開キスエズ運河ヲ成功セシメタル有名ナルレセツブ氏之カ議長トナリ此南北亞米利加間ノ地峽各所探究ノ上ヨリ成リタル數多ノ取調線中ヨリ五ヶ所ノ尤モ適當ナル場處ヲ選定シ又之ニ附キテ充分ナル研究ノ後ヲ終ニ八ニ對スル七十八ノ大多數ヲ以テレセツブノ主張スル所ノパナマ線尤モ適當ニシテ之ヲ實施スルコトニ決定セリ其所謂五線トハ

位置	長サ日本里	線路中邪魔物	峻功年限	工費日本銀貨	通過スル日限	記 事
テホンテベク	六十里	閘門百二十ヶ所	不明	不明	十二日	氣候宜シ

抜 萃

ニカラカ バナマ サンパラス アトラト	七十三里 十八里 十四里半 七十二里半	開門十七ヶ所 ナシ 隧道長二里半 隧道長一里	八年 十二年 十二年 十年	三億圓 四億圓 四億圓 三億余圓	四日半 一日半 一日 三日	氣候惡カラズ工事容易ナリ 氣候惡ク工事困難 全右 全右
------------------------------	------------------------------	---------------------------------	------------------------	---------------------------	------------------------	--------------------------------------

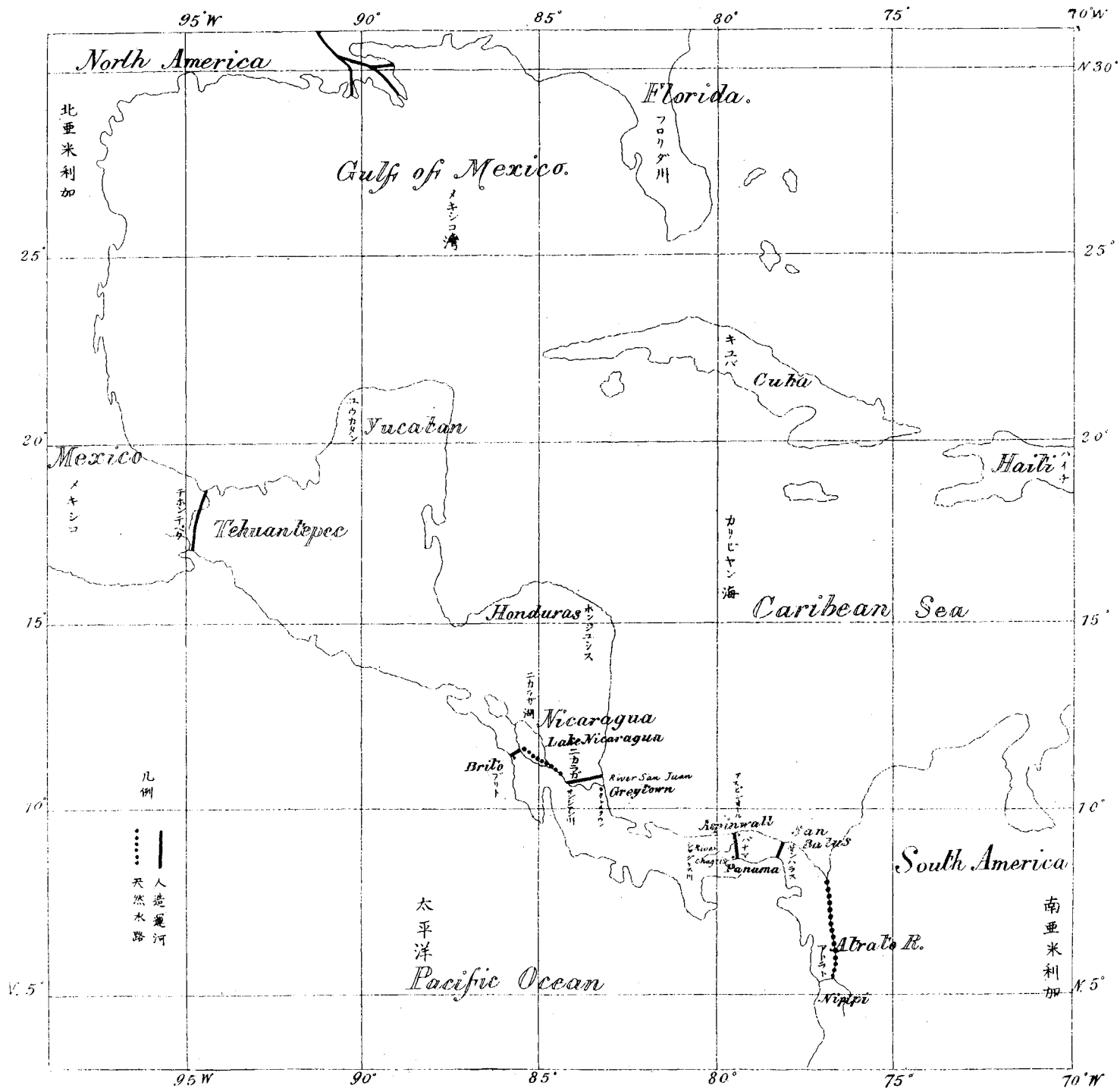
運河線ハ彌バナマ線ト決シタリ其落成シタル後ニ於テハ修理ノ爲メニ費ス所ノ費用年々凡
 四百萬圓余ト計算シ毎年此運河ヲ通過スル荷物ヲ六百萬噸ト見做シ收入スルコトヲ得ル税金
 三千万圓ヲ得ルコト難カラズ此計算誤ナキモノナラハ甚タ利益アル事業ト言フ可シ而シテ
 此大事業ハレセツブ氏之ヲ擔任スルコトナレリ
 此時ニ當ツテ此事業ヲ賛成シテ助力スルモノアリ到底任遂ル能ハザルナラント信シ又ハ他
 ノ原因ヨリ之ニ反對スルモノアリ世界視線ノ燒點ハ氏ノ身上ニ集マリタリ時ニ氏ノ信友某
 書ヲ送テ此事業ヲ擔任スルコトヲ思ヒ止マラシメントセリレセツブ之ニ答フルノ語ニ云ク若
 シ愛ニ一將軍アリ初メテノ出陣ニ大勝利ヲ得タリト假定セヨ今ヤ大敵ノ來リ襲フニ會シ再
 ヒ出陣ヲ請ハレタル場合ニハ之ヲ否ムコトヲ得ザルナリト蓋シ友人ノ好意ハ曩ニスエズ運河
 ヲ落成セシメテヨリ以來滿身皆名譽タル此大佛人ニ瑕ヲ附ケザラントスルニアレリ伊國王
 ノ如ギハ尤モ之ヲ賛成セリ此時ニ當ツテハレセツブヲ信スル殆ンド神佛モ只ナラザル佛國
 人民皆之ヲ賛成シテ其成功ヲ疑ハザリシナリ以テ當時ノ有様ヲ知ルニ足ル可シ
 是ニ於テカ千八百七十九年直ニバナマ運河會社ヲ創立シ事務所ヲ巴黎ニ置キ總工費ノ半額

即二億万圓ヲ募集シ追テ殘部ヲ集ムルト決定シ其金額ノ半額一億ハ歐羅巴ニ於テ募リ殘ル一億ハ米國ニ於テ集ムルノ目的ヲ以テ株券ヲ發行セシニ翌千八百八十年ノ末ニ至ツテ總株數百二十余万ノ内九十九万余ハ佛國內ノミニ於テ應募シ申込金高ハ其集メントスル金額一倍以上ニ及ベリ

此會社ノ勢朝日ノ昇ル如ク盛ニ質地ニ着手スルトナリ千八百八十三年迄ハ工事ノ準備ニカ、リ翌千八百八十四年土工ニ着手スルニ至ル迄ニハ早已ニ創業費金利土地器械買入レ等ニ壹億二千万余圓ヲ費セリ爾來工事進行シテ千八百八十六年ニ至ツテハ二億九千万圓ヲ費シタルニ前途尙ホ未タ目途立タザルニ至レルコソ遺憾ノ至ナリ

抑モ何カ故ニ斯ノ如キ多望ナル工事ノ今ヤ末覺東ナクナリシヤヲ尋ヌレバ土地ノ不健康ニシテ工事ニ從事スルモノ過半死亡スルガ故ニ隨テ詐僞惡計至ラザルナク役員各侈借ヲ極メ出來得可キ丈ケノ金ヲ早ク擱ミテ死セザル内ニ他ニ走ラントハ上下一般ナリ之ニ加フルニシヤグリスト云フ荒川運河線ニ横ハリ大雨アル毎ニ見ル見ル水面數十尺ノ洪水ヲ來シ大金ヲ費シテ堀鑿シタル所モ爲メニ荒サレテ跡ヲモ止メザルニ至リシヲ屢ナリ此運河ノ在處ナルバナマ地峽ハ北緯八度ニアリテ氣候甚タ熱キノミナラズ年中ノ過半ハ一日中ニ數回ノ晴雨アリ大雨益ヲ覆スカ如キト見ル間ニ晴レテ日光燒クカ如ク有機物ノ腐敗生育共ニ非常ニ速ニシテ草木ヲ切開キテ道ヲ通スルモ數日ヲ徑レバ直ニ草木原形ニ生長シテ復タ切開キタル場所ヲ知ル能ハサルニ至ル隨テシヤグリス熱ト稱シテ瘴癘毒ニカ、ルモ多ク一度之ニ犯サレバ數時間ニシテ仆ル土工夫ノ之ニ犯サレタルモノヲ土車運送車ニ載セテ之ヲ病院ニ送

リ又ハ死セルモノハ一纏ニシテ埋葬スルモ尙ホ足ラズ廣大ナルコロソノ病院モ人ヲ入ル、
 ノ余地ナク門外ニ仆ル、モノ多ク遂ニ總計三万余人ノ死亡者ヲ生セリ
 スノ如キ有様ニテ進行シ千八百八十七年即今ヲ去ル四年前ニ至リテ會社モ今ヤ如何トモス
 ル能ハザルニ至レリ總土坪一千八百万立坪ノ中僅ニ其上部ノ尤モ容易ナル所ノミヲ五百万
 坪ヲ動カシタルノミニテ總工事ノ十分ノ一ヲモ竣ラザルニ目論見金ノ過半ヲ費セリ翌千八
 百八十八年ノ一月會社ノ有金三千余万圓ニシテ其年末迄ニハ是非トモ壹億万圓ヲ得ザルニ
 非サレバ進行スル能ハザルカ故ニ終ニ富講株發行ノ許可ヲ求メントスルニ至レリ佛國人ノ
 信用猶ホ未タ隨チズ其募ニ應セシモノアリシト雖モ幾モナクシテ復タ出金スルモノナキニ
 至レリ此時ニ當ツテ浮説百出中ニハレセツテ死セリト訛傳スルモノアルニ至リ今ヤ其サツ
 ギ國內ニ止マラズ政府ノ處分如何ニヨツテハ政府モ共ニ轉覆セザル可ラザル勢トナレリ依
 テ取調特派委員ノ報告ニ基キ閣議終ニ運河會社ニ募金ヲ許サ、ルコトニ決定シ八十七万人ノ
 株主巴黎佛良西歐洲全体ノ經濟社會爲メニ震動シテ歐洲一大強國政府モ此數千里外ノ工事
 ノ爲メニ起リタル混雜ノ螺卷中ニ一時ハ卷込マレントセリ
 運河會社ノ有様右ニ述ベタルガ如キモレセツテハ尙屈セズ此バナマ地方ニ於テ八個ノ開門
 ヲ以テ此地峽ヲ越ヘ得ル所ノモノヲ作ラント盡力シツ、アリ然レモ今日其實地ノ有様ヲ述フ
 レバ工場ニハ早ヤ已ニ草木茂繁シテ所々ニ大ナル器械家屋ノ草木中ニ立チ一見人ヲシテ斷
 鵬セシメ名望神佛モ只ナラザル *La Grand Francois* ノ末路言フニ忍ヒザルモノナリ抑モ此運
 河工事ニ比ス可キ大工事ハ他ニ其類ヲ見ザルニ非ズマンチエスターノ運河ノ如キスエズラ



ングエトツク運河如キ遠クハ隨帝ノ大運河ノ如キハ三万人ノ人夫ヲ使役シテ四十三年ヲ費セシト云フモノアリ前代未聞ニモアラザルモノ、斯、ル失敗トナリシモノハ地方ノ氣候甚タ惡ク朝ニ夕ヲ知ラザルカ故ニ隨テ起ル百般ノ困難其大ナル原因トナリシナリ

扱此バナマ運河ハ前途イヨイヨ目途ナキニ至リシカ今ヤ世運此地峽ニ一ノ通路ナカル可ラザルニ際セル故ニ一昨年以來他ニ一運河ヲ作ラントスルニ盡力セシハ多ク米國人ニテ此第二ノ大運河モ今ヤ盛ニ進行シ居ルモノハ即前ニ述ヘタル所ノ五線中ノ一ナル工事尤モ容易ナルニカラガ運河是レナリ此運河ノ事ニ附キテノ詳細ハ是ヲ爰ニ述ブル能ハズ他日ニ讓ル可シト雖モ此度ノ工事ハバナマノ如ク氣候甚タ惡カラザルカ故ニ今後十年ヲ出ザル内ニハ此地峽ヲ舟ノ通過スルヲ見ルヲ得ルノ時アル可シ

(田邊 朔郎)

○佛國巡航艦イスリー號進水式 佛國一等巡航艦イスリー號ハ去ル七月二十二日プレス

ト海軍造船所ニ於テ進水ノ式ヲ執行セリ

當日ハ例ニ因リ船造所ノ大門ヲ開キ衆庶ノ縱覽ヲ許セリ午後一時半ノ頃ニハ參觀ノ衆老弱男女群集シテ本艦構造ノ船臺ノ周圍其他進水ヲ觀ルヲ得ベキ所ニハ悉ク輻輳シ立錫ノ地ナキニ至ル此時イスリー號ハ僅ニ數條ノ支柱ニ支ヘラレ余ハ已ニ脱去セリ船體ハ吃水線以下ヲ赤色ニ塗り以上ヲ灰色ニ彩ス船舷ノ周圍ニハ綠葉ヲ用ヒテ以テ裝飾トナス船臺ノ左右ニハ式場ヲ設ク文武諸官及ビ招待員ノ席トナス

午後二時半第二海軍區鎮守府長官提督ゼデー氏參列ノ將官數名ト共ニ端艇ニ搭シ來會ス此ニ於テ造船所長之ヲ迎ヘ直ニ式場ニ請ジ稜敷ノ上ニ登ル此時亞督ボワスーデー氏技術監督